

岡山就実短大 藤井美枝子

1. 衿の構成は好みや年齢材質等によって多種多様の表現が必要であるがこれらの構成はあくまで数理的な解決が可能であるとの考えからどのような型にもどのような寸法にもその構成には一つの基礎的定義あると思ひその定義を求めて研究しております。

2. 1)衿くり衿こし衿幅の関連関係の把握

2)基本的関連の変化

3)衿くりの変化による展開等を報告し、今回は4報とし、それらの研究をまとめいかなる衿くりいかなる型にも使用できる定義を提出したいと思ひます。

3. 以上の結果として正確なスタイル画の把握ができるようになり、それはまた絵が読めるようになることに通じまた正確な図がひけることにもなり草、行、楷の表現も十分可能となり、理論的、数値による指導の正確さスピーディさを理解できると思ひます。